

# CASA新聞

発行 株式会社カーザミカワ  
岡崎本社 ☎0564-24-2511  
岡崎市吹矢町8番地  
豊田営業所 ☎0565-28-3891  
豊田市豊栄町6丁目1番地

## ポストコロナの新日常実現へ 国土交通省 21年度予算決定概要

国土交通省は12月21日、2021年度予算決定概要を公表した。新型コロナウイルスへの社会経済対策と大規模自然災害への対応を従来の縦割りを超えた施策で推進し、ポストコロナの新日常を実現する。東京一極集中の是正で地方創生・多核連携型の国づくりへの転換を図り、テレワーク環境の整備やデジタル化などを推進していく。

国費総額の一般会計は5兆8981億円（0・01%減）で、20年度第3次補正予算を含めると9兆1893億円（同0・55%増）。財政投融资は2兆87億円（同0・18%減）、第3次補正を含めると2兆8228億円（同0・15%増）となった。施策の中心は「国民の安全・安心確保」「持続的な経済成長の実現」「豊かで活力ある地方の形成と各連携型の国づくり」の3つからなる。

強靱な国土づくりに関する「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」を推進。流域治水やインフラ老朽化対策、交通ネットワーク整備、戦略的会場保安体制を構築する。さらに豊かで活力ある地方を創るためにも、東京一極集中型から多核連携型の国づくりへの転換を図る。そのためにバリアフリー社会の形成、二拠点居住やワーケーションなど重生活環境を充実。スマートシティ、次世代モビリティなども推進する。住宅局関係予算は21年度当初予算が1572億5400万円（前年比0・02%増）、20年度第3次補正予算が31億500万円、合計1603億5900万円（同0・04%増）。

重点施策は住まいの安全確保、住宅ストックと流通市場形成、セーフティネット、生産性向上と新技術実装の4つからなる。今年度の目玉である住宅・建築物における「新たな日常」への対応では、住宅団地等におけるコワーキングスペースの整備により、テレワーク環境への整備を支援する。既存ストックの有効活用・市場の活性化では、安心R住宅制度や住宅リフォーム事業団体登録制度などの施策の普及を支援する。生産性向上については、BIMの活用環境整備を進め、建築確認申請など関係手続などのオンライン化を推進。建築分野におけるIT活用・リモート化を普及促進する。21年度第3次補正でグリーン住宅ポイント制度（国費1094億円）、住まい給付金（同777億3600万円）の予算をつけた。引き続き、大工技能者育成事業に国費5億円（前年比100%）、地域型住宅グリーン化事業に国費140億円（同0・04%増）と、21年度第3次補正で国費10億円を計上した。

### 11月の合板商況

昨年11月の内外産国産合板供給量は42万7600立方メートルで前年同月比15・7%減（前月比3・7%減）となった。国産合板の生産量は9か月ぶりに27立方メートルを超えたが、輸入合板は大きく減少した。国産合板のうち、針葉樹合板は出荷量が生産量を上回った。このため、針葉樹合板の在庫量（日合連推計値）は10万400立方メートルで前月比4900立方メートル減、針葉樹構造用合板の在庫量は9万1700立方メートルで同4100立方メートル減と、いずれも6カ月連続で在庫減となっている。メ

ーカー在庫は極めて低水準で推移しており、出荷のやりくりに苦労している。ただ、出荷量は前年比減が続いているため、国内合板メーカーでは供給過剰に陥らないよう生産調整を継続している。このため、在庫量はもう少ししばらく回復したが、11月は再び15万立方メートルまで減少した。要因となったのはマレーシアからの入荷減。インドネシア、中国もコンテナ不足による船繰りの影響が重なって減少している。普通合板の品薄感

が強まったことで、インドネシアの合板メーカーへの注文量は堅調に推移したが、マレーシアからの入荷は12月厚品は10月後半まで品薄感がそこまで強くなかったことや需要の先行きへの不安感から手当てを絞りに動きが続いたことで減少した。12月はある程度まとまった入荷があったと見られているが、現地メーカーも原木不足や労働者の確保難で生産量を伸ばしづらいため、どこまで増加するかは不透明だ。

### 住宅ローン減税等を延長

#### 2021年度税制改正大綱を閣議決定

政府は12月21日、住宅ローン減税と住宅取得等資金に係る贈与税非課税措置の延長等を盛り込んだ2021年度税制改正大綱を閣議決定した。民需主導の好循環の実現等に資する住宅投資の喚起を通じて、新型コロナウイルスの影響により落ち込んだ経済の回復を図る。ただし、今後の国会で関連税制法が成立することが前提となる。住宅ローン減税に

関しては、現行の控除期間13年の措置については、契約期限と入居期限をともに1年延長する。契約期限は注文住宅が2020年10月、分譲住宅等が2020年11月、入居期限は2021年1月、2022年12月を満了者に適用する。また、上記の控除期間13年の措置の延長分については、床面積要件を40平方メートル以上50平方メートル未満とし、合計所得金額100万円以下の者に適用する。

住宅取得等資金に係る贈与税非課税措置については、2021年4月、2022年4月、2022年12月に関する契約については、2020年度と同額の非課税限度額（最大1500万円）を措置する。また、床面積要件は40平方メートル以上50平方メートル未満とし、合計所得金額100万円以下の者に適用する。

### 11月の新設住宅着工

国土交通省は12月25日、11月の新設住宅着工戸数を発表した。持家が前年同月比1・5%増の2万4010戸となり16カ月ぶりの増加となった。全体では、貸家と分譲住宅が減少したため、同3・7%減少し7万798戸で17カ月連続の減少となったが、減少幅は一段と縮小した。季節調整済み年率換算値は前月比2・3%増の82万戸で4カ月ぶりの増加。11月としては過去10年で最も低い水準となり、持家は微増となったが下から2番目の低水準で、分譲住宅は最低水準だった。貸家は前年同月比6・1%減の2万6451戸で2カ月連続、分譲住宅は同6・1%減の1万9548戸で13カ月連続の減少となった。

地域別で見ると、持ち家は中部圏以外で同2・3%増加。マンションは近畿圏で同77・0%増と大幅に伸び、全国合計の反転増に繋がったが、近畿圏以外では減少している。

表示説明	値下げ ☀️	横ばい ☁️	値上げ ☔️
市況状況	ラワン薄ベニヤ	.....	☔️
	ファルカタ正寸12mm T2	.....	☔️
	針葉樹12mm 3×6	.....	☔️

昨年中は格別のご厚情にあずかり厚く御礼申し上げます。本年もよろしくご愛顧のほど、お願い申し上げます。  
カーザミカワ社員一同

